



## 院長の1分レクチャー22

### 【背が低い原因は？】

こども園や学校の健診で「背が低い」「低身長」と言われて悩んでいませんか？その原因について当院でも大まかに調べることができます。

原因で最も多いのは「家族性低身長」です。両親が小柄なので子どもも小柄というパターンです。これは他の病気がなさそうということが分かって初めて診断できます。

頻度は低いですが有名なのは「成長ホルモン不足（分泌不全）」ですね。基準を満たせば成長ホルモンの治療ができます。その他にも、

代謝の異常、甲状腺ホルモン不足、栄養不足、家庭の問題、

思春期が早すぎたタイプ、思春期が遅すぎてまだ来ていないタイプ

などがあります。

受診の時は母子手帳、こども園や学校での成長記録をお持ちください。成長曲線を作成することで、いつから伸びが鈍くなっているかが分かります。

検査は血液検査と手のレントゲンです。手のレントゲンからはお子さまが何歳相当の体なのかを判定します。例えば年齢が12歳でも体が10歳相当であれば10歳児の平均身長と比較するわけです。

診断は早い方がいいので、できれば小学生～中学生のうちに受診してくださいね。

低身長で受診するときは今までの「成長の記録」を持参してください。

※「院長の1分レクチャー」はホームページや  
公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつかこども  
クリニック